

# 競技注意事項

- 2022年度日本陸上競技連盟規則にしたがう。
- 招集について  
招集場所は各競技場所及びスタート付近（リレー競技は各走者スタート位置）とする。  
各競技に出場する者は各場所で、係員の点呼を受けること。  
競技場内へはGATE1またはGATE4から入場すること。  
電子機器類の競技場への持込を禁止する（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）。  
トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。  
招集時間は裏表紙の競技時間表のとおりとする。  
800m以上のトラック種目は、招集時に腰ナンバーカードを受け取り右腰斜め後方に着用すること。（レース後に係員に返却のこと）  
  
リレーのオーダー用紙は招集開始の60分前までに受付(エントランス内)へ提出すること。
- バーの上げ方  
走高跳 (練習)(開始)  
(一高男子) 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m78 (以降3cmずつ)  
(一高女子) 1m20 1m25 1m30 … 1m45 1m48 1m51 (以降3cmずつ)  
(中学男子) 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m63 (以降3cmずつ)  
(中学女子) 1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m38 1m41 (以降3cmずつ)  
棒高跳 当日、審判員の指示に従うこと。
- 本競技会における傷病については、応急処置のみで以降の責任を負わない。
- 競技場内外とも汚さないよう注意し、ゴミは各人・各チームで必ず持ち帰ること。
- 貴重品の保管については各自で十分に注意すること。
- 選手はゴール後、審判員の指示に従ってGATE1から退場すること。
- スパイクのピンは、全天候性走路のため9mm以下(走高跳、やり投は12mm以下)のピンを使用のこと。  
シューズ規定(厚底シューズ)は、日本陸連競技規定(TR5)を適用する。
- 第二競技場について
  - ベンチを設置することを禁止する。
  - ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
  - 1・2レーンは、長距離専用、3～6レーンは、流し専用、7・8レーンはハードル専用とする。
  - スタート練習は110mHのスタートラインを使用すること。
  - リレーのバトンパス練習は衝突回避の為、バックストレートを使用すること。
  - 走幅跳、走高跳の練習は所定のピットで行うこと。
  - 投てきの練習は禁止する。
  - 走路及びピットに立ち止まっの指導を禁止する。
  - 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
  - 走路の横断は十分に注意すること。
  - 投てき場の使用は禁止する。
  - 用具は使用する者で準備、片付けること。
  - 多目的広場はウォーミングアップ等に使用しないこと。
- メイン競技場のコンコース、スタンドへのベンチ設置を認めるが、ゴミなどは各チームで処理すること。
- 一般高校の競技結果は、掲示板に掲示しないのでHPの結果速報で確認すること。